令和6年度 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 医師労働時間短縮計画

計画期間 令和6年4月~令和9年3月末

対象医師

救急診療科医師 (B:9 名, C-1 専攻医:2 名)、外科医師 (B:6 名, C-1 専攻医:7 名)、形成外科医師 (B:1 名)、整形外科医師 (B:2 名)、脳神経外科医師 (B:4 名)、循環器内科医師 (B:9 名, C-1 専攻医:2 名)、心臓血管外科医師 (B:6 名, C-1 専攻医:2 名)、消化器内科医師 (B:22 名, C-1 専攻医:4 名)、研修医 (C-1:17 名)

1. 労働時間と組織管理(共通記載事項)

(1)労働時間数

救急診療科医師 (B:9 名, C-1 専攻医:2 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	1120 時間	1020 時間	960 時間
最長	1536 時間	1440 時間	1200 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	9名・82%	9名・82%	9名・82%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

外科科医師 (B:6 名, C-1 専攻医:7 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	725 時間	684 時間	660 時間
最長	1821 時間	1440 時間	1200 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	6名・55%	6名・55%	6名・55%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

形成外科医師(B:1名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標

平均	984 時間	960 時間	960 時間
最長	984 時間	960 時間	960 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人・100%	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

整形外科医師(B:2名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	672 時間	612 時間	612 時間
最長	1028 時間	960 時間	960 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人・50%	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

<u>脳神経外科医師(B:4名)</u>

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	562 時間	516 時間	516 時間
最長	1056 時間	960 時間	960 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	1人・25%	0人・0%	0人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

循環器内科医師 (B:9 名, C-1 専攻医:2 名)

		•	
年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	712 時間	672 時間	648 時間
最長	1644 時間	1560 時間	1500 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	4人・36%	4人・36%	4人・36%
1,860時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

心臓血管外科医師 (B:6 名, C-1 専攻医:2 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	646 時間	600 時間	600 時間
最長	1536 時間	1440 時間	1440 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	5人・83%	5人・83%	5人・83%

1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%
-----------------	-------	-------	-------

消化器内科医師 (B:22 名, C-1 専攻医:4 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	368 時間	336 時間	312 時間
最長	1510 時間	1440 時間	1200 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	4名・16%	4名・16%	4名・16%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0%	0人・0%

研修医(C-1:17名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了
			年度の目標
平均	1620 時間	1560 時間	1500 時間
最長	2712 時間	1860 時間	1860 時間
960 時間超~1,860 時間の人数・割合	28 名・88%	28 名・88%	28 名・88%
1,860 時間超の人数・割合	7名・22%		

(2) 労務管理·健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	・電子カルテ上の出退勤打刻で出退勤管理
	・新勤怠管理システムの導入準備
令和6年度の取り組み目標	・新勤怠管理システムを導入し、労働時間管理・
	勤務間インターバル・代償休息確保・副業兼業
	先の労働時間を含めた勤務計画を作成し、時間
	外・休日労働時間が上限を超えず、法定休日が
	確保されるような勤務体制を構築する
	・少なくとも月に1回は医師本人へ自身の労働時
	間について、フィードバックする
	・作成された勤務計画について、総務課・医局秘
	書でダブルチェックを行う
	・医師に対して、勤怠管理や当人が実施すべき内
	容(始業・退勤時刻の申告、副業・兼業先の労
	働時間の申告、時間外労働の自己研鑽部分のル

	ール確認等)について周知を行う
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	労働基準法施行規則第 23 条の宿日直許可の取得
	申請準備及び申請
令和6年度の取り組み目標	・労働基準法施行規則第23条の宿日直許可の取得
	申請準備及び申請
	・新勤怠管理システムを導入し、宿日直許可の有
	無による取扱いを踏まえた勤務計画の作成
計画期間中の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む

【医師の研鑚の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	自己研鑽ルールを明確化し、時間外申請書を用い
	て時間外と自己研鑽の時間を把握する
令和6年度の取り組み目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【労使の話し合い、36協定の締結】

前年度の取組実績	・協議の場として、労働安全衛生委員会を月1回
	開催する
	・適切な選出プロセスを経て、36 協定の過半数代
	表者を適正に選出する
令和6年度の取り組み目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	・上記事項に取り組む
	・36 協定の締結に関し、労働者代表が医局会で医
	師へ意見聴取する

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	・労働安全衛生委員会を月1回開催する
	・健康診断を年1回実施する
令和6年度の取り組み目標	・長時間労働医師と面接指導実施医師(面接指導
	実施医師の資格を有する産業医を含む)との面
	接指導体制、面接の場を設定し、他職種がサポ
	―トする体制を構築する

	・労働安全衛生委員会で長時間労働医師への対応
	状況の共有や対策について検討する
	・面接指導を実施する際、医師本人に加えて、所
	属長及びシフト管理者に連絡する体制を整備す
	వ
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【追加的健康確保措置の実施】

V	
前年度の取組実績	連続勤務時間制限、勤務間インターバルの状況を
	把握し、管理する
令和6年度の取り組み目標	・新勤怠管理システムを導入し、労働時間管理・
	勤務間インターバル・代償休息確保・副業兼業
	先までの移動時間を考慮した休息時間が確保さ
	れた勤務計画の作成
	・勤務体制を見直し、必要な体制(面接指導)を
	組む
	・BC 水準適用医師に対して、健康管理の重要性、
	面接指導の受診方法、勤務間インターバル確保、
	代替休息の取得方法等に関する研修を行う
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	医局会にて医師へ働き方改革の取組みに対して周
	知を行う
令和6年度の取り組み目標	・病院長を含む医療機関内の管理職層に対して、
	医療機関の管理者としての人事・労務管理に関
	する外部のマネジメント研修を受講
	・各診療部門の長又は勤務計画管理者に対して、
	事務部門(総務課・医師対策係・医局秘書)が、
	人事・労務管理の各種規程や勤務計画作成・管
	理に関する研修を実施
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(4)策定プロセス

院長・病院幹部・各科診療部長・事務員(総務課・医師対策係・医局秘書)・コメディカル職員 等の多職種が参加する医師の働き方改革委員会を毎月1回開催し、この計画の検討を行い策定し た。案の段階で、対象医師やタスク・シフト先となる職員等と意見交換を行った。策定後には当 該計画を医局内に掲示、また職員へ周知案内を行った。なおタスク・シフト/シェアの実施に当 たり、令和6年度中に関係職種への説明会を実施し、研修資料の配布、基本事項の説明を行う予 定である。

2. 労働時間短縮に向けた取組(項目ごとに任意の取組を記載)

(1)タスク・シフト/シェ<u>ア</u>

【看護師】

	・特定行為研修 修了看護師 9名
	・医師の指示の元、静脈注射及び留置針によるル
	ート確保、カテーテルの留置、抜去等の各種処
	置行為
	・入院時の説明及び退院調整の実施
計画策定時点での取組実績 	・救命救急センターに特定行為研修を修了した看
	護師を配置し、重症度を判断し診療の優先順位
	の決定
	·血管造影、画像下治療(IVR)の介助
	・診察前の情報収集
令和6年度の取り組み目標	・特定行為研修 修了予定の看護師2名
計画期間中の取組目標	・特定行為研修を受講する看護師の更なる増員

【薬剤師】

	・周術期における薬学的管理等
計画策定時点での取組実績	・病棟等における薬学的管理、入院患者の服薬
	指導
	_
	・事前に取り決めたプロトコールに沿って行う
	処方された薬剤の投与量の変更等
	### ### == 1
	・薬物療法、副作用情報等に関する説明

	・医師への処方提案等の処方支援・糖尿病患者等における自己注射や自己血糖測定等の実技指導
令和6年度の取り組み目標	・ハイリスク薬等の服薬指導の実施
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【診療放射線技師】

計画策定時点での取組実績	・放射線検査等に関する説明、同意書の受領
	・放射線管理区域内での患者誘導
計画泉た時点での取組美視	・血管造影・画像下治療(IVR)における補助
	行為
今和6年度の取り組みり日 博	・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指
令和 6 年度の取り組み目標 	定講習会 1 名受講済み、他 19 名受講予定
	・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指
	定講習会残り 28 名受講予定(全員受講完了)
	・放射線造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜
	針止血などの診療補助
	・動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動
	脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入
計画期間中の取組目標	装置を操作する行為
	・下部消化管検査のため、注入した造影剤及び
	空気を吸引する行為
	・上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテー
	テルから造影剤を注入する行為、当該造影剤
	の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去
	する行為

【臨床工学技士】

計画策定時点での取組実績	・心臓血管カテーテル検査、治療時に使用する生
	命維持管理装置の操作
	・人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤
	の投与量の設定及び変更
	・全身麻酔装置の操作
	・人工呼吸器の設定変更

令和6年度の取り組み目標	・臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大 臣指定による研修 18 名受講済み、他 19 名受講 予定(全員受講完了)
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【臨床検査技師】

計画策定時点での取組実績	・外来における採血業務
	・レポートの迅速作成
	・心臓・血管カテーテル検査、治療における直接
	侵襲を伴わない検査装置の操作
令和6年度の取り組み目標	・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指
740年度の取り組の日標	定講習会 3 名受講済み、他 15 名受講予定
	・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指
	定講習会 15 名受講予定
	・輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同
	意書の受領
	• 直腸肛門機能検査
	・持続皮下グルコース検査
計画期間中の取組目標	・運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査に係
	る電極の装着及び脱着
	・検査のため、経口、経鼻又は気管カニューレ内
	部から喀痰を吸引して採取する行為
	・超音波検査に関連する行為として、静脈路を確
	保して、造影剤を接続し、注入する行為

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

計画策定時点での取組実績	・リハビリテーションに関する各種書類の記載・
	説明・書類交付
令和6年度の取り組み目標	・医師からの早期離床のオーダーに適切に対応で
	きる体制の整備
	・各診療科ごとのカンファレンスの介入
	・タスクシフト/シェアについて特に推進するとさ
	れているもの以外の業務について、タスクシフ
	ト/シェアの検討
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【救急救命士】

計画策定時点での取組実績	特になし
令和6年度の取り組み目標	病院救急車による患者搬送及び重度傷病者に対す る救急救命処置
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	· 医師事務作業補助者 40 人体制
	・診療録等の代行入力
	・各種書類の記載
	・医師の診察の前に、問診票を用いて、患者の
	病歴や症状などを聴取する業務
	・検査に関する説明、同意書の受領
令和6年度の取り組み目標	・医師事務作業補助者 44 人、派遣スタッフ 6 人体
	制に増員
計画期間中の取組目標	・医師事務作業補助者の更なる増員
	・全診療科へ医師事務の配置を目指す

(2)医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	複数主治医制(一部診療科)
令和6年度の取り組み目標	・夜間帯の労働時間や休日の勤務体制について労
	働時間短縮に向けて業務内容の見直し
	・会議やカンファレンス等の開催時間を時間外か
	ら時間内へ変更、また開催時間の短縮化
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(3) その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	院内保育所設置
--------------	---------

令和6年度の取り組み目標	・出産・子育て・介護など、仕事と家庭の両立支援として時短勤務や宿日直の免除・更なるチーム医療の推進上記事項に取り組む・AI 問診を導入するなど ICT を活用した医師の労働時間短縮や業務の効率化を検討
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(4)副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	副業・兼業規程を作成し、届出による副業・兼業
	の労働時間の管理
令和6年度の取り組み目標	・新勤怠管理システムを導入し、副業、兼業先の
	労働時間を含めた勤務計画の作成
	・副業・兼業先へ医師の休息時間確保への協力を、
	必要に応じて依頼
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(5)C-1水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率

計画策定時点での取組実績	特になし
令和6年度の取り組み目標	・個々の医師に応じた研修目標の設定とこれに沿った 修プログラムの作成
	・効果的な学習教材・機材提供による学習環境の
	・教育カンファレンスや回診の効率化
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む